

日本認知科学会第 38 回大会 プログラム (速報)

会期 : 2021 年 9 月 3 日(金)~9 月 5 日(日)

会場 : オンライン開催 主催校 : 北星学園大学

第 1 日 9 月 3 日(金)

開会式

9 月 3 日 (金) 9:00-9:30

会場 : zoom 会場

口頭発表 1 (O1) DX へ向けて : 手法

9 月 3 日 (金) 9:30-10:50

会場 : zoom 会場 座長 : 粟津 俊二(実践女子大学)

※発表番号末尾の F は大会発表賞へ応募していることを示しています。

- O1-1F アンカリング効果を応用したナッジ手法 : 車両の速度超過を減少させる方法の検討
大貫 祐太郎(東京大学), 本田 秀仁(追手門学院大学), 植田 一博(東京大学)
- O1-2 デジタル質問紙の開発とその回答反応を用いたパーソナリティ評価の基礎検討
沼田 崇志(株式会社日立製作所), 工藤 泰幸(株式会社日立製作所), 加藤 猛(京都大学),
金子 迪大(京都大学), 野村 理朗(京都大学), 森口 佑介(京都大学), 嶺 竜治(京都大学)
- O1-3 理解確認のための説明活動が説明者と聞き手の理解に及ぼす影響
伊藤 貴昭(明治大学)
- O1-4 内なる表象の解釈 -内的な心理過程の多様性について-
中山 一輝(大阪大学大学院), 高橋 英之(大阪大学大学院基礎工学研究科),
石川 悟(北星学園大学文学部), 伴 碧(大阪大学大学院基礎工学研究科),
石黒 浩(大阪大学大学院基礎工学研究科)

口頭発表 2 (O2) DX へ向けて : 生活の変革への実践

9 月 3 日 (金) 11:10-12:30

会場 : zoom 会場 座長 : 本田 秀仁(追手門学院大学)

- O2-1 シント・マルテンの新型コロナ感染者は何人ですか? : コロナ感染者数の推定によるリスク認知の利用可能性仮説の検討
中村 國則(成城大学社会イノベーション学部)
- O2-2 選択のオーバーロード現象に商品購入場所と購入対象が及ぼす影響
松田 憲(北九州市立大学), 高宗 加奈(北九州市立大学), 畔津 憲司(北九州市立大学),
有賀 敦紀(広島大学)
- O2-3 Computational Thinking は評価可能か : ビーバーチャレンジの協働問題解決過程の分析
遠山 紗矢香(静岡大学), 松澤 芳昭(青山学院大学), 谷 聖一(日本大学)
- O2-4 話量は理解となぜ相関しないのか? —「知識構成型ジグソー法」授業を例に—
中山 隆弘(東京大学), 白水 始(国立教育政策研究所), 齊藤 萌木(東京大学),
飯窪 真也(東京大学)

フラッシュトーク上映(FT1) 【昼休み】

9月3日(金) 12:30-13:40

会場: zoom 会場

ポスター発表1 (P1)

9月3日(金) 13:45~15:45

会場: oVice 会場

在席責任時間: 発表番号奇数: 13:45~14:45/偶数: 14:45~15:45

※発表番号末尾のFは大会発表賞へ応募していることを示しています。

- P1-01 デザイン思考の組織導入要件ーデザイン思考浸透・定着組織と未浸透・未定着組織の比較による考察
廣田 章光(近畿大学), 小川 亮(株式会社プラグ), 黒岩 健一郎(青山学院大学大学院), 吉橋 昭夫(多摩美術大学)
- P1-02 L2 音声知覚マップにおける L1 目録の影響ー日本語母語話者と中国語母語話者の英語摩擦音知覚の比較
川崎 貴子(法政大学), 田中 邦佳(法政大学)
- P1-03 協同学習の成果を10年後に評価するー「知識構成型ジグソー法」による可搬性とメタ学習ー
白水 始(国立教育政策研究所), 齊藤 萌木(東京大学), 飯窪 真也(東京大学), 森山 一昌(飯塚市教育委員会)
- P1-04F 協同学習のためのコンセプトマップ作成ツールの開発と評価
下條 志巖(立命館大学大学院), 林 勇吾(立命館大学総合心理学部), 大本 義正(静岡大学情報学部), 森田 純哉(静岡大学情報学部)
- P1-05F 健聴者と聴覚障がい者における字幕設計要素の印象評価の検討と自動字幕評価ツールの開発
高瀬 愛理(筑波大学, 産業技術総合研究所), 若月 大輔(筑波技術大学), 中島 佐和子(秋田大学), 大山 潤爾(産業技術総合研究所, 筑波大学)
- P1-06F アイデア評価者の新奇性追求傾向と評価値の関連
服部 エリー 彩矢(名古屋大学大学院), 山川 真由(名古屋大学大学院), 三輪 和久(名古屋大学大学院)
- P1-07F 自己評価ずれ・他者評価ずれとBig Fiveの関連性
横山 真衣(帝京大学), 小島 一晃(帝京大学), 山川 真由(名古屋大学), 三輪 和久(名古屋大学)
- P1-08 慶應義塾大学博士課程教育リーディングプログラムの“文理融合/リビングラボ/少人数対話”ベース 遠野サイエンスカフェの成果と課題
田中 徹(慶應義塾大学), 高橋 萌(元慶應義塾大学), 佐野 岳史(元慶應義塾大学), 鈴木 敬和(元慶應義塾大学), 角 晴美子(元慶應義塾大学), 水口 高翔(元慶應義塾大学), 石田 陽一郎, 土井 梓
- P1-09 遠隔対話システムとアバターを用いた接客がサービス評価に与える影響: 客ー店員間比較と加齢変化
安久 絵里子(筑波大学人間系), 原田 悦子(筑波大学人間系), 鷹阪 龍太(筑波大学人間系), 葛岡 英明(東京大学)
- P1-10 対話のインタラクシオンリズムの変化とフロアの対称性の関係ー日常対話と漫才対話の比較からー
本井 佑衣(立命館大学大学院), 岡本 雅史(立命館大学)

- P1-11F そのヒューリスティックは、そもそも使えるのか ~正確性と使用可能性に基づくヒューリスティック使用の検証~
白砂 大(追手門学院大学), 本田 秀仁(追手門学院大学), 松香 敏彦(千葉大学), 植田 一博(東京大学)
- P1-12 演劇評価尺度の構築——Twitter による語彙収集ならびに尺度の妥当性・信頼性の検証——
正田 悠(立命館大学スポーツ健康科学部), 山下 瑛司(神戸大学国際人間科学部)
- P1-13F Gradient-weighted Class Activation Mapping を用いた顔魅力要因の性差の検討
佐野 貴紀(株式会社構造計画研究所)
- P1-14F カードゲームにおける行動の読み合いに必要な条件の検討 —ACT-R の部分一致メカニズムに関して—
細川 敦司(静岡大学情報学部), 森田 純哉(静岡大学情報学部)
- P1-15F 逸脱した発話音声に対する記号的な解釈の可能性 —母音の延伸を中心に—
韓 旼池(京都大学院生)
- P1-16 深層学習によるニュース記事の重要性と感情指標の自動推定システムの構築
野村 理朗(京都大学大学院), 河原 大輔(早稲田大学基幹理工学部),
松尾 正信(京都テクストラボ, 京都情報大学院大学)
- P1-17 扁桃体の関連性感知という役割とユーモア理解の三大理論との整合性の検討
中村 太戯留(武蔵野大学)
- P1-18F 演劇における即興性はどこに現れるか: 台本劇との比較を用いた弁別要因の検討
ヒュース 由美(東京大学大学院), 向井 香瑛(早稲田大学理工学術院, 日本学術振興会),
渡邊 克巳(早稲田大学理工学術院), 工藤 和俊(東京大学大学院学際情報学環)
- P1-19 パーソナリティ特性と安静時脳波コネクティビティの関連性
星 海地(明治大学大学院), 嶋田 総太郎(明治大学理工学部)
- P1-20 クラウドソーシングにより収集される他者意見の多様性と質
荒井 武蔵(千葉工業大学大学院), 山崎 治(千葉工業大学)
- P1-21 マインドフルネス瞑想オンライントレーニングの有効性の検証
橋本 直美(明治大学), 嶋田 総太郎(明治大学)
- P1-22 高度な身体スキルの熟達評価に関する検討 ~走方向転換動作に注目して~
山田 雅敏(常葉大学), 大畑 昌己(桃山学院教育大学), 梶井 大輔(桃山学院教育大学)
- P1-23 VR 環境における不公平回避行動に関する分析 ~最終通告ゲームを用いた実験的検討~
大津 耕陽(立命館大学グローバルイノベーション研究機構), 林 勇吾(立命館大学総合心理学部),
下條 志巖(立命館大学大学院), 田村 昌彦(立命館大学総合心理学部), 泉 朋子(立命館大学情報理工学部)
- P1-24 自己管理型学習環境のデザイン指針を求めて ~三省堂高等学校数学教科書電子版を題材に~
尾関 智恵(愛知工科大学), 白水 始(国立教育政策研究所), 中山 隆弘(東京大学)
- P1-25 思い込みインタラクション ~セラピーロボットへの関わりから生まれるもの~
石川 悟(北星学園大学)
- P1-26F WMC が次善解から最善解への転換へ与える影響—情報探索を媒介変数とした検討—
二宮 由樹(名古屋大学), 岩田 知之(名古屋大学), 寺井 仁(近畿大学), 三輪 和久(名古屋大学)
- P1-27 身体が表示位置が身体のメンタルモデルに与える影響 ~前腕のメンタルモデル更新の手がかりに関する検討~
岡松 育夢(立命館大学大学院), 小林 晶(立命館大学大学院), 松室 美紀(立命館大学),
柴田 史久(立命館大学大学院), 木村 朝子(立命館大学大学院)

- P1-28 運動知覚における「うごき」のオブジェクト性：ランダムドット運動錯視を用いた数値的予測と実験的検証
鳥居 拓馬(北陸先端科学技術大学院大学), 日高 昇平(北陸先端科学技術大学院大学)
- P1-29F プレッシャーが明示的な運動制御精度と力みに与える影響
小笠原 香苗(総合研究大学院大学, 生理学研究所), 小池 耕彦(総合研究大学院大学, 生理学研究所), 定藤 規弘(総合研究大学院大学, 生理学研究所)
- P1-30F 重力と異なる方向に自由落下 / 上昇する物体の軌道予測と追跡眼球運動に与える重力方向の評価
平田 貴士(名古屋大学大学院), 平田 豊(中部大学大学院), 川合 伸幸(名古屋大学大学院)
- P1-31F 身体運動の階層型構造の推定に向けて
田澤 龍之介(北陸先端科学技術大学院大学), 鳥居 拓馬(北陸先端科学技術大学院大学), 日高 昌平(北陸先端科学技術大学院大学)
- P1-32 身体運動制御における注意の働きとシナジーに関する一考察
阪口 豊(電気通信大学)
- P1-33F 数理モデルを用いた三者の運動協調における不均一な役割の検討
市川 淳(神奈川大学), 藤井 慶輔(名古屋大学)
- P1-34 隠れマルコフモデルを用いた眼球運動による性格特性の推定
徐 キョウテツ(関西学院大学), 長田 典子(関西学院大学), 松香 敏彦(千葉大学)
- P1-35 大学生の主観的 Well-being と心理的 Well-being に関するモデル構築
江 維豪(神戸大学), 正田 悠(立命館大学)
- P1-36 ものづくりの授業における知的障害児の学習共同体への参加分析ー認知的徒弟制の理論的枠組みに基づいてー
野尻 浩(聖心女子大学)
- P1-37 知識差のあるメンバー間での知識共有に対して理解度共有が及ぼす影響
吉田 悠真(千葉工業大学大学院), 山崎 治(千葉工業大学)
- P1-38 Subjective BERT: self-attention による「おいしいね」「おいしそうだよ」の意味理解
岡 夏樹(京都工芸繊維大学), 松島 茜(京都工芸繊維大学), 萬處 修平(京都工芸繊維大学), 深田 智(京都工芸繊維大学), 吉村 優子(金沢大学), 川原 功司(名古屋外国語大学)
- P1-39 科学的知見に基づく教育コンテンツを乳児は理解しているか? : NHK 乳幼児番組「いないいないばあっ!」のトマトちゃん映像に対する数理解
奥村 優子(NTT コミュニケーション科学基礎研究所), 小林 哲生(NTT コミュニケーション科学基礎研究所)
- P1-40 画面で読み聞かせた絵本の理解における誤信念理解と類推 (V)
光田 基郎(ノースアジア大学経済学部)
- P1-41F 不定自然変換理論に基づく比喩理解モデルの実験的検証
池田 駿介(東京電機大学), 布山 美慕(早稲田大学), 西郷 甲矢人(長浜バイオ大学), 高橋 達二(東京電機大学)
- P1-42F 合流のための行動調整に他車の印象が与える影響の検討
下條 朝也(名古屋大学), 三輪 和久(名古屋大学), 二宮 由樹(名古屋大学), 寺井 仁(近畿大学)
- P1-43 単語の意味空間を心的操作する = 射影
浅川 伸一(東京女子大学情報処理センター), 近藤 公久(工学院大学情報学部)

- P1-44 歩車混在空間における協調的行動
松林 翔太(名古屋大学), 三輪 和久(名古屋大学), 寺井 仁(近畿大学), 下條 朝也(名古屋大学),
二宮 由樹(名古屋大学)
- P1-45 2030年の統合的知能情報空間のためのプラットフォームについて
伊藤 明彦(東海大学国際文化学部デザイン文化学科)
- P1-46 居住空間におけるモノとの対話：かたづけの認知的特性に関するフィールド調査
南部 美砂子(公立はこだて未来大学), 工藤 華(株式会社森川組)
- P1-47 カテゴリー学習における弁別困難な事例の影響
松香 敏彦(千葉大学), エキムジャン ラフィラ(千葉大学)
- P1-48 いまだ、ペンはキーボードよりも強し —ノートテイキングの学習効果—
林 美都子(北海道教育大学函館校), 太田 鈴香(北海道教育大学函館校)
- P1-49 自律的相互学習を支える『隣の学習者』と『ざわめき』：相互扶助・共感・マスクング
原田 康也(早稲田大学), 坪田 康(京都工芸繊維大学), 鍋井 理沙(東海大学),
赤塚 祐哉(早稲田大学), 森下 美和(神戸学院大学)
- P1-50F 時間的解釈が問題構築の創造性に与える影響
平田 瑞貴(名古屋大学), 三輪 和久(名古屋大学)
- P1-51 概念形成に関する「圏論的」解釈について
美馬 義亮(公立はこだて未来大学)
- P1-52F 「感情が伝わりやすいタッチ」の演繹的検証
大屋 里佳(東京女子大学大学院人間科学研究科・日本学術振興会),
田中 章浩(東京女子大学現代教養学部)
- P1-53 映画鑑賞による潜在的差別意識の変化についての検討
花房 柚祐(明治大学理工学研究科), 嶋田 総太郎(明治大学理工学部),
小川 有希子(法政大学社会学部)
- P1-54 符号化効率性によるネッカーキューブの立体知覚の計算論的説明
日高 昇平(北陸先端科学技術大学院大学), 高橋 康介(立命館大学)
- P1-55F 道徳的意思決定における速度分極化仮説
馬 春宇(九州大学システム生命科学府), 許 吉(九州大学), Kajornvut Ounjai(King Mongkut's
University of Technology Thonburi), 宋 閻徳嘉(九州大学), Yimeng Jin(九州大学),
Lauwereyns Johan(九州大学)
- P1-56 価値が導く論理的思考の計算モデル化にむけて
大森 隆司(玉川大学脳科学研究所), 宮田 真宏(玉川大学脳科学研究所)
- P1-57F 俳句創作過程の認知科学的検討——言葉に対する知覚の機能に着目して——
蓬田 息吹(東京大学教育学研究科), 清水 大地(東京大学教育学研究科),
岡田 猛(東京大学教育学研究科)
- P1-58F 因果的説明における scope の数が latent scope bias の効果に与える影響の検討
塚村 祐希(東京大学大学院), 若井 大成(東京大学大学院), 下條 朝也(名古屋大学大学院)
- P1-59 階層構造理解における認知的加齢の影響：アドホックカテゴリ分類課題を用いた検討
石井 奏有(筑波大学大学院), 原田 悦子(筑波大学人間系)
- P1-60F ドラム演奏課題における生理的シンクロニーと二者のパーソナルテンポの類似度の関連
森原 佳歩(神戸大学大学院), 正田 悠(立命館大学スポーツ健康科学部)
- P1-61F なぜ人々は天井に絵を描いたのか？ —天井画の歴史的変遷に関する文献調査—
三浦 慎司(名古屋大学大学院), 川合 伸幸(名古屋大学大学院)

- P1-62 野火的活動が拡がる条件の試論的分類：エンゲストロームの文献とエスノグラフィーを通じた考察から
渡辺 謙仁(放送大学), 田邊 鉄(北海道大学)
- P1-63 投影的没入感向上のための動きとストレス状態の随伴的表現による同調認知の誘発
中澤 悠(静岡大学), 大本 義正(静岡大学)
- P1-64 疑似科学の信奉に科学的態度および科学的判断が及ぼす影響
任田 成良(近畿大学), 寺井 仁(近畿大学)

オーガナイズドセッション (OS02)

非可換確率論を用いた認知科学 (量子認知) の基礎と展開可能性

9月3日(金) 16:00-18:00

会場: zoom 会場 No. 1

オーガナイザー: 布山 美慕(早稲田大学), 西郷 甲矢人(長浜バイオ大学)

- OS02-1 これからの「確率」の話をしよう—非可換確率論によるモデリングに向けて
西郷 甲矢人(長浜バイオ大学)
- OS02-2 研究事例の紹介を通じた量子認知研究の基礎と課題の共有
布山 美慕(早稲田大学)
- OS02-3 量子確率論の認知神経科学への応用に向けて
山田 真希子(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構)
- OS02-4 総合議論

オーガナイズドセッション (OS03)

文化的実践における認知研究の相互理解に向けて—理論や世界観と知見の関係を探る

9月3日(金) 16:00-18:00

会場: zoom 会場 No. 2

※発表番号末尾の F は大会発表賞へ応募していることを示しています。

オーガナイザー: 土倉 英志(法政大学), 郡司 菜津美(国土館大学)

- OS03-1 理論や世界観と知見の関係性を解きほぐす-文化的実践における認知研究の相互理解に向けて
土倉 英志(法政大学)
- OS03-2 調理法は後から決めてもよいか
高梨 克也(滋賀県立大学)
- OS03-3 アフォーダンス: エンカウンターとその制御
青山 慶(岩手大学)
- OS03-4 漫画読解過程の分析: 二次創作者はどのように漫画を読んでいるのか
原田 悦子(筑波大学), 荒井 はつね(筑波大学)
- OS03-5F 日常のものの見方の変化を促す美術鑑賞ワークショップのプロセスに関する検討
古藤 陽(東京大学大学院), 清水 大地(東京大学大学院), 岡田 猛(東京大学大学院)
- OS03-6 ディスカッション: 文化的実践における認知研究の相互理解に向けて
岡部 大介(東京都市大学), 城間 祥子(沖縄県立芸術大学)

オーガナイズドセッション (OS05)

認知科学のモデル論－哲学から感情まで－

9月3日(金) 16:00-18:00

会場：zoom 会場 No. 3

※発表番号末尾の F は大会発表賞へ応募していることを示しています。

オーガナイザー：林 勇吾(立命館大学), 大森 隆司(玉川大学), 竹内 勇剛(静岡大学),
森田 純哉(静岡大学), 寺田 和憲(岐阜大学)

OS05-1 メタモデル探求としての認知科学、科学哲学

松王 政浩(北海道大学)

OS05-2 圏論による意味推論のモデリング

日高 昇平(北陸先端科学技術大学院大学)

OS05-3F 認知モデルを組み込んだ音韻意識形成支援システムの提案

西川 純平(静岡大学), 森田 純哉(静岡大学)

OS05-4F 知的好奇心の計算論モデルとアルゴリズムモデルの接続：ベイジアンネットワークを用いた
ACT-R モデルの分析

長島 一真(静岡大学), 森田 純哉(静岡大学), 竹内 勇剛(静岡大学)

OS05-5 Connecting computational cognitive modeling to the physiological and to the Social to have a
better understanding of the Human

Chris Dancy (Bucknell University)

オーガナイズドセッション (OS07)

ゲーム研究の新展開 (3) ～認知データの計測と評価～

9月3日(金) 16:00-18:00

会場：zoom 会場 会議室 4

オーガナイザー：伊藤 毅志(電気通信大学), 大澤 博隆(筑波大学), 棟方 渚(京都産業大学),
池田 心(北陸先端科学技術大学院大学), 松原 仁(東京大学)

OS07-1 社会的比較を用いたエージェントとの競争システム

大石 真史(筑波大学), 大澤 博隆(筑波大学)

OS07-2 人狼でなぜ人は騙されるのか

金泉 則天(電気通信大学大学院), 伊藤 毅志(電気通信大学大学院)

OS07-3 パネル討論「認知データの計測と評価」

パネリスト：片寄 晴弘(関西学院大学), 中谷 裕教(東海大学), 棟方 渚(京都産業大学),
大澤 博隆(筑波大学)

司会：伊藤 毅志(電気通信大学)

オーガナイズドセッション (OS12)

超々高齢化社会の認知科学：いま私たちにできること

9月3日(金) 16:00-18:00

会場：zoom 会場 No. 5

オーガナイザー：小橋 康章(株式会社大化社), 齋藤 洋典(中部大学)

OS12-1 持続可能社会の探求におけるこころの問題

外岡 豊(埼玉大学名誉教授)

OS12-2 意味を運ぶ器とこころの探求における統合の必然性

齋藤 洋典(中部大学)

第2日 9月4日(土)

企画シンポジウム 『認知科学の研究・実践のDX』

9月4日(土) 9:00-12:00

会場：zoom 会場

企画： 日本認知科学会第38回大会運営委員会(眞嶋 良全：北星学園大学)

講演者： 佐々木 恭志郎(関西大学) GoTo オンラインーWeb 実験・調査を利用した非接触型
ヒト行動データ収集ー

山田 祐樹(九州大学)： いともたやすく行われるえげつない研究行為

植阪 友理(東京大学)： オンラインを活用した実践を通じた学習者の自立支援

ーオンライン学習法講座およびオンライン個別学習相談の実践からー

阿部 慶賀(和光大学)： JCSS2020 の失敗経験から得た研究交流のDX と心的制約

昼休み・運営委員会

9月4日(土) 12:00-13:00

会場：zoom 会場 (学会事務局)

総会 (論文賞・野島賞授賞式)

9月4日(土) 13:30-14:30

会場：zoom 会場

フェロー講演

9月4日(土) 15:00-16:00

会場：zoom 会場

講演者：片桐 恭弘(公立はこだて未来大学)

タイトル：モラルティの認知科学に向けて

オーガナイズドセッション(OS04)

多元化する異文化体験：COVID-19 後に楽しく観光するために

9月4日(土) 16:20-18:20

会場：zoom 会場 No. 1

オーガナイザー：伊藤 篤(中央大学), 原田 康也(早稲田大学), 平松 裕子(中央大学),
森下 美和(神戸学院大学)

OS04-1 観光客と情報環境 (言語景観・意味景観) とのインタラクション：多層的異文化コミュニケーションの危険な曲がり角

原田 康也(早稲田大学)

- OS04-2 「見立て」の成立：文化地域における発信者（日光店主）と受信者（観光客）間のコミュニケーション
平松 裕子(中央大学)
- OS04-3 神戸における外国人居住地域の言語景観
森下 美和(神戸学院大学)
- OS04-4 ICTによる旅行の安心安全：スマホアプリによる支援のありかた
伊藤 篤(中央大学)
- OS04-5 言語表現と認知機序との間隙
佐良木 昌(明治大学)
- OS04-6 AR技術を用いた観光情報の提示手法に関する検討
藤原 智宏(宇都宮大学), 金成 慧(宇都宮大学), 伊藤 篤(中央大学), 佐藤 美恵(宇都宮大学)

オーガナイズドセッション(OS06)

推論に基づくヒト・コミュニケーションの進化と未来

9月4日(土) 16:20-18:20

会場：zoom 会場 No. 2

オーガナイザー：小林 春美(東京電機大学), 橋本 敬(北陸先端科学技術大学院大学)

- OS06-1 行動予測から意図推定そして意図共有への進化シナリオの試論
橋本 敬(北陸先端科学技術大学院大学)
- OS06-2 「これ」 
明地 洋典(京都大学)
- OS06-3 言っていないことは“意図された”ことと想定するべきなのか？
安田 哲也(東京電機大学)
- OS06-4 アイロニー発話と推論的コミュニケーション
吉村 あき子(奈良女子大学)
- OS06-5 ソーシャルメディアにおけるコミュニケーションの現在と未来
笹原 和俊(東京工業大学)

オーガナイズドセッション(OS09)

The creative self：創造的な自己を育む

9月4日(土) 16:20-18:20

会場：zoom 会場 No. 3

オーガナイザー：石黒 千晶(金沢工業大学), 清水 大地(東京大学), 清河 幸子(東京大学)

- OS09-1 Creative Self-Beliefs: On Their Importance, Structure, and Mechanisms
Maciej Karwowski(University of Wroclaw)
- OS09-2 活動から立ち現れる創造性 - 現場の文脈に埋め込まれたデザイン
宮田 義郎(中京大学), 三野宮 定理(株式会社ソフトデバイス), 原田 泰(公立はこだて未来大学)
- OS09-3 創造性育成のためのアートプログラムの構築とその効果
清水 大地(東京大学大学院), 蓬田 息吹(東京大学大学院), 王 詩雋(東京大学大学院), 岡田 猛(東京大学大学院)

オーガナイズドセッション(OS15)

教育評価のデジタルトランスフォーメーションに向けて：算数・数学を例に

9月4日(土) 16:20-18:20

会場：zoom 会場 No. 4

オーガナイザー：益川 弘如(聖心女子大学), 白水 始(国立教育政策研究所), 齊藤 萌木(東京大学)

OS15-1 教育評価のデジタルトランスフォーメーションに向けて

白水 始(国立教育政策研究所)

OS15-2 埼玉県学力向上施策の概要～埼玉県学調を中核としたPDCAの推進～

八田 聡史(文部科学省), 大根田 頼尚(文部科学省)

OS15-3 適応型学習機能を組み込んだAIドリルの「比・割合」のビッグデータ解析から見えること

益川 弘如(聖心女子大学), 稲垣 忠(東北学院大学)

OS15-4 学習支援システムの研究動向に関するレビュー：CAIからadaptive testingへ

林 勇吾(立命館大学)

OS15-5 「比とその利用」の「知識構成型ジグソー法」授業における児童の学習プロセスの検討

齊藤 萌木(東京大学), 水谷 隆之(シカゴ日本人学校)

OS15-6 教育評価のデジタルトランスフォーメーションに向けてのコメント

懇親会

9月4日(土) 18:30-20:00

会場：oVice 会場

第3日 9月5日(日)

口頭発表3(O3) 人工的認知

9月5日(日) 9:00-10:20

会場：zoom 会場 座長：大本 義正(静岡大学)

※発表番号末尾のFは大会発表賞へ応募していることを示しています。

- O3-1F 文脈の中で相互理解感を形作る推薦対話システム
前川 知行(慶應義塾大学), 松森 匠哉(慶應義塾大学), 福地 庸介(慶應義塾大学),
今井 倫太(慶應義塾大学)
- O3-2 写真とイラストから否定を認識する：人間と深層学習モデルの比較
佐藤 有理(東京大学大学院), 峯島 宏次(慶應義塾大学文学部), 植田 一博(東京大学大学院)
- O3-3 立脚点の違いによって相互予測問題を解消する強化学習エージェント
高田 亮介(静岡大学), 竹内 勇剛(静岡大学)
- O3-4 メッセージ付きジレンマゲームにおける コミュニケーションシステムの変化に関する実験的
検討
矢野 颯真(静岡大学情報学部), 井上 直紀(静岡大学情報学部), 森田 純哉(静岡大学情報学部)

特集セッション(O4) 「オンラインの認知科学」

9月5日(日) 10:45-12:15

会場：zoom 会場 座長：石川 悟(北星学園大学)

- O4-1 恋愛要素のある二次創作物への嗜好：夢女子の恋愛観
粟津 俊二(実践女子大学), 金谷 春佳(実践女子大学), 加藤 奈々(実践女子大学)
- O4-2 オンライン学習を組み合わせたハイブリッド型体験学習の有効性の検討
高橋 麻衣子(東京大学先端科学技術研究センター), 中邑 賢龍(東京大学先端科学技術研究
センター)
- O4-3 オンライン視察はどのように「物足りない」のか——本拠としての現地視察
七田 麻美子(埼玉大学), 菊地 浩平(筑波技術大学), 須永 将史(小樽商科大学)

フラッシュトーク上映(FT2) 【昼休み】

9月5日(日) 12:20-13:40

会場：zoom 会場

ポスター発表2(P2)

9月5日(日) 13:45~15:45

会場：oVice 会場

在席責任時間： 発表番号奇数：13:45~14:45／偶数：14:45~15:45

※発表番号末尾のFは大会発表賞へ応募していることを示しています。

- P2-01 日本語の和語動詞文では動作主項が省略されやすい:コーパスによる調査
程 レイ雅(東北大学大学院), 木山 幸子(東北大学大学院)
- P2-02 語りを構造化する引用：日本語日常会話における引用標識「とか」の分析
白田 泰如(国立国語研究所)

- P2-03F 日本語音声の持つ非日本語話者への情報伝達性にかかわる要因の実験的検討
宮本 真希(北陸先端科学技術大学院大学), 日高 昇平(北陸先端科学技術大学院大学)
- P2-04 中国母語話者による L2 日本語の長音分析
範 雯婷(法政大学大学院)
- P2-05 日本語地図課題対話における名詞の引用
川端 良子(国立国語研究所)
- P2-06 音声持続時間からみた日本語拗音の性質
松井 理直(大阪保健医療大学)
- P2-07 物語の展開から結末を構成する能力の発達 - 日本語を母語とする子どもの場合 -
稲葉 みどり(愛知教育大学)
- P2-08 ゼミ (少人数) 教育を通じた自己主体感の醸成 - 学生一人ひとりにあったインフォーマル
コミュニケーションの模索
佐山 公一(小樽商科大学)
- P2-09 物語生成論による自閉スペクトラム症の支援 - 「見立て」から「たとえ話」へ -
青木 慎一郎(岩手県立大学)
- P2-10 比喩生成を応用したキャッチコピー作成支援システムの提案
呉 航平(公立ほこだて未来大学), 寺井 あすか(公立ほこだて未来大学)
- P2-11F 季節を考慮した俳句の自動生成システムにおける評価機構
和田 周(公立ほこだて未来大学大学院), 寺井 あすか(公立ほこだて未来大学)
- P2-12 物語自動生成ゲームにおける「生成システムとしてのストーリー」の開発
小野 淳平(青森大学ソフトウェア情報学部), 小方 孝(岩手県立大学ソフトウェア情報学部)
- P2-13 フリースタイルラップ中の脳賦活領域と言語能力との関係: プロとアマチュアの比較検討
関根 和生(早稲田大学人間科学学術院), 森本 智志(慶應義塾大学先端研究センター)
- P2-14 共同サイモン課題における共同運動主体感と脳活動同期
世良 菜那見(明治大学大学院), 嶋田 総太郎(明治大学理工学部)
- P2-15F 相関成分分析による音楽聴取時の脳活動クラスタリング
上野 芙優(明治大学大学院), 嶋田 総太郎(明治大学理工学部)
- P2-16 コンテンツ受容時の情動依存脳活動に対する人称視点の影響
三輪 恒士(関西学院大学理工学部), 工藤 卓(関西学院大学工学部)
- P2-17 グラウンドチルト・ルームチルト混合 VR 環境における垂直認知
元橋 洸佐(名古屋市立大学大学院), 佐藤 優太郎(名古屋市立大学大学院),
小鷹 研理(名古屋市立大学大学院)
- P2-18 文書校正課題作業時のエラー傾向と認知機能の関係
渋谷 友紀(障害者職業総合センター), 清水 求(障害者職業総合センター), 野澤 卓矢(障害者
職業総合センター), 前原 和明(秋田大学教育文化学部), 八木 繁美(障害者職業総合センター)
- P2-19 空きコマでの「スマホ・リテラシー」 - 大学生の二者間会話場面の分析を通して -
千田 真緒(東京都市大学大学院), 市野 順子(東京都市大学), 岡部 大介(東京都市大学)
- P2-20 ARDJ の刺激文の読み時間データの回帰木解析を使った要因分析
黒田 航(杏林大学医学部), 阿部 慶賀(和光大学現代人間学部), 粟津 俊二(実践女子大学教育
学部), 寺井 あすか(公立ほこだて未来大学), 土屋 智行(九州大学言語文化学部)
- P2-21F インタラクティブなモデルベース回想法を実現する対話インタフェースの実装に向けた分析
酒井 翔伎(静岡大学情報学部行動情報学科), 森田 純哉(静岡大学情報学部行動情報学科)

- P2-22F プレイが個人間のインタラクションにおけるアイデア生成を促進するメカニズムの分析
成 太俊(北陸先端科学技術大学院大学), 橋本 敬(北陸先端科学技術大学院大学)
- P2-23 計量テキスト分析が明らかにする書家の紙面上の造形操作
野澤 光(東京大学総合文化研究科特任研究員)
- P2-24 対話エージェントの外見属性による自己開示への影響分析
藤堂 健世(東京工業大学情報理工学院), 大河 勇斗(立教大学大学院), 佐藤 元己(立教大学大学院), 岡本 将輝(東京大学大学院), 丸山 雄平(立教大学大学院), 北澤 正樹(立教大学大学院、北澤技研), 高橋 聡(関東学院大学理工学部), 吉川 厚(東京工業大学、立教大学大学院), 山村 雅幸(東京工業大学情報理工学院)
- P2-25 日本人における基本感情と表情の関係分析
斉藤 功樹(日本ユニシス株式会社), 中川 靖士(日本ユニシス株式会社)
- P2-26F パターン認知と変換群構造の関係の分析
亀井 暁孝(北陸先端科学技術大学院大学), 日高 昇平(北陸先端科学技術大学院大学)
- P2-27F 高齢者の信頼性判断の学習を支援するのは同世代か異世代か：対話内容の分析
澤田 知恭(筑波大学大学院), 岡部 莉子(筑波大学), 中尾 菜々子(筑波大学),
鷹阪 龍太(筑波大学人間系), 原田 悦子(筑波大学人間系)
- P2-28 授業動画におけるバーチャルアバターがもたらす学習者への効果 — バーチャルアバターの有無と動きに注目して
小島 隆次(滋賀医科大学)
- P2-29F 人がかけがえのない存在だと感じるロボットとはどのようなものか — 気持ちの共有に向けたロボットの感情評価実験
齋藤 宗一郎(北陸先端科学技術大学院大学), 橋本 敬(北陸先端科学技術大学院大学)
- P2-30 数値推定の回答における数値選好と集合知への応用
本田 秀仁(追手門学院大学), 香川 璃奈(筑波大学), 白砂 大(追手門学院大学)
- P2-31 tracin: コミュニケーション研究で用いられる定性的記述「トランスクリプト」作成支援プログラム
牧野 遼作(広島工業大学／早稲田大学人間総合研究センター), 栗原 勇人(早稲田大学大学院),
谷貝 祐介(早稲田大学 人間総合研究センター), 門田 圭祐(早稲田大学大学院), 白田 泰如(国立国語研究所)
- P2-32 傘回しの一人称研究による身体知獲得過程の分析
渡邊 樹生(株式会社リペア), 小倉 加奈代(岩手県立大学)
- P2-33F ネコの数量弁別と鏡映像無視／利用に関する実験研究
高橋 薫子(名古屋大学), 川合 伸幸(名古屋大学／中部大学)
- P2-34 中高生を対象とした食品安全に対する理解度調査
田村 昌彦(立命館大学), 稲津 康弘(農研機構), 江渡 浩一郎(産業技術総合研究所),
松原 和也(立命館大学), 天野 祥吾(立命館大学), 野中 朋美(立命館大学),
松村 耕平(立命館大学), 永井 聖剛(立命館大学), サトウタツヤ(立命館大学),
堀口 逸子(東京理科大学), 和田 有史(立命館大学)
- P2-35 概念融合ができるロボットの実現とその人間らしさの調査
周 豪特(北陸先端科学技術大学院大学), 橋本 敬(北陸先端科学技術大学院大学),
李 冠宏(北陸先端科学技術大学院大学)

- P2-36F 確率に基づく基盤化状態の予測モデル
浅野 恭四郎(静岡大学大学院), 須藤 早喜(静岡大学大学院), 光田 航(NTT メディアインテリジェンス研究所), 東中 竜一郎(NTT メディアインテリジェンス研究所), 竹内 勇剛(静岡大学大学院)
- P2-37 専門学校の情報リテラシークラスにおけるオンライン授業
森下 浩平(大阪経済法科大学)
- P2-38F 商品探索時に利用されるパッケージ情報
岩根 榛花(筑波大学), 原田 悦子(筑波大学)
- P2-39F 情報処理プロセスの可視化による説明活動の向上
山川 真由(名古屋大学大学院), 小島 一晃(帝京大学), 横山 真衣(帝京大学), 三輪 和久(名古屋大学)
- P2-40 クジ比較における反事実への懸念と認知ポテンシャル
犬童 健良(関東学園大学経済学部)
- P2-41 数の整列プロセスの人とコンピュータの比較
山口 琢(フリー), 新美 礼彦(公立はこだて未来大学), 大場 みち子(公立はこだて未来大学)
- P2-42F 月経サイクルを通し、認知機能とイライラの原因ホルモンは、関連しているのだろうか。
鈴木 友美子(名古屋大学), 大平 英樹(名古屋大学)
- P2-43 コミュニティ・アートのボランティアについての尺度開発の試み
佐々木 美加(明治大学商学部)
- P2-44 適切な文脈の欠如と推論
山森 良枝(同志社大学)
- P2-45 構文選択と焦点化
本多 明子(神戸女子大学)
- P2-46 意識の機能をめぐる概念的明確化
新川 拓哉(神戸大学), 宮原 克典(北海道大学), 濱田 太陽(Araya), 西田 知史(国立研究開発法人情報通信研究機構)
- P2-47F 怒り抑制法の特徴と問題点：システマティックレビュー
金谷 悠太(名古屋大学大学院), 川合 伸幸(名古屋大学大学院・中部大学創発学術院)
- P2-48F 言語モデルが算出する文類似度は人の比喻選択率をなぞるか
岡 隆之介(三菱電機株式会社), 大島 裕明(兵庫県立大学大学院), 楠見 孝(京都大学大学院)
- P2-49 二者間バイアス区間における3人目の振る舞い
宮崎 太我(東京工科大学), 榎本 美香(東京工科大学)
- P2-50 新型コロナウイルスへの態度から探る信念バイアスの発生メカニズム
近藤 大貴(慶応義塾大学大学院), 今井 むつみ(慶応義塾大学環境情報学部)
- P2-51 視覚復号型秘密分散暗号の復号に要求される重ね合わせ精度
大槻 正伸(福島工業高等専門学校), 小泉 康一(福島工業高等専門学校)
- P2-52 プレゼンテーション・トークの計画に聴衆との対話を組み込む足場としての漫才型スクリプトの提案と実践報告
鈴木 栄幸(茨城大学), 舟生 日出男(創価大学), 久保田 善彦(玉川大学), 加藤 浩(放送大学)
- P2-53 身体環境協調における「ずれ」：巧みな「もしかめ」における安定した協調パターン
伊藤 万利子(札幌学院大学心理学部), 三嶋 博之(早稲田大学人間科学学術院)

- P2-54F 漫才における予定調和の崩壊と演者の視線および姿勢の変化との関係
藤田 匠(早稲田大学大学院), 山本 敦(早稲田大学大学院), 古山 宣洋(早稲田大学人間科学学術院)
- P2-55F 2者のヴァイオリン演奏におけるリード関係と曲の難易度・身体部位の関連
板垣 寧々(早稲田大学大学院), 谷貝 祐介(早稲田大学人間総合研究センター招聘研究員), 古山 宣洋(早稲田大学人間科学学術院)
- P2-56F 『京鹿子娘道成寺』で表現される心・歌詞・振りと道成寺伝説との関連
河合 珠空(放送大学教養学部), 小方 孝(岩手県立大学ソフトウェア情報学部)
- P2-57 女性が活躍の場へ参加するにあたっての勧誘の影響と内面の変容 一さかいで 131 (ぼうさい) おとめ隊の事例一
庄野 真紀(香川大学地域マネジメント研究科), 西中 美和(香川大学地域マネジメント研究科)
- P2-58 避難意思決定の対角空間パターン生成における個体の影響の詳細分析
鶴島 彰(セコム株式会社 I S 研究所)
- P2-59 自信に関するメタ認知と意見の表出順序が集団意思決定に与える影響
長尾 光喜(金沢工業大学大学院), 伊丸岡 俊秀(金沢工業大学)
- P2-60F 意思決定と覚醒度を媒介する内部状態の検討
米田 凌(静岡大学大学院), 森田 純哉(静岡大学)
- P2-61F 洞察問題解決における固着からの制約緩和に孵化のタイミングが与える影響評価
田岡 祐樹(東京工業大学), 岡崎 祐樹(東京工業大学), 伊藤 鈴(東京工業大学), 齊藤 滋規(東京工業大学)
- P2-62F 洞察問題解決におけるのひらめきと瞳孔反応の関係の探索
伊藤 鈴(東京工業大学), 田岡 祐樹(東京工業大学), 岡崎 祐樹(東京工業大学), 齊藤 滋規(東京工業大学)
- P2-63 一人称視点のターンテイキングダイナミクスが人/計算機の識別に与える影響
金野 武司(金沢工業大学工学部), 竹田 亮大(金沢工業大学工学部)
- P2-64 知的なアバターへのフルボディ錯覚がエグゼクティブ機能に与える影響
小池 勇輝(明治大学大学院), 嶋田 総太郎(明治大学理工学部)
- P2-65 カメラ機能の有無による初対面同士のオンラインコミュニケーションへの影響
長尾 由伸(千葉工業大学), 山崎 治(千葉工業大学)
- P2-66 専門性の有無が日本舞踊の評価構造に与える影響
田中 祐貴(金沢工業大学大学院), 伊丸岡 俊秀(金沢工業大学大学院)

オーガナイズドセッション(OS08)

認知・認識におけるダイバーシティとインクルージョン (D&I) :

当事者と研究者の共創が切り拓く知のフロンティア

9月5日(日) 16:00-18:00

会場: zoom 会場 No. 1

オーガナイザー: 伴 睦久(東京大学先端科学技術研究センター)

OS08-1 共同創造の歴史的背景と意義

熊谷 晋一郎(東京大学)

OS08-2 発達障害の理解から支援へ: 認知ミラーリング研究の展開

長井 志江(東京大学)

- OS08-3 科学研究のダイバーシティとインクルージョン
並木 重宏(東京大学)
- OS08-4 当事者の知と拓く共同研究の課題
綾屋 紗月(東京大学)
- OS08-5 発達障害当事者への理解促進のための実践
本間 美穂(株式会社 LITALICO パートナーズ)
- OS08-6 認識におけるダイバーシティとインクルージョン
伴 睦久(東京大学)
- OS08-7 視覚障害者にとってのアクション RPG ゲーム空間 一聴覚的なキューと探索行動によって
生まれる空間認知ー
田中 みゆき(早稲田大学), 細馬 宏通(早稲田大学)

オーガナイズドセッション(OS10)

行動実験と計算機シミュレーションの接続

ー認知的インタラクションフレームワークの構築に向けてー

9月5日(日) 16:00-18:00

会場: zoom 会場 No. 2

オーガナイザー: 市川 淳(神奈川大学), 坂本 孝丈(静岡大学), 大澤 正彦(日本大学)

- OS10-1 行動実験と計算機シミュレーションを組み合わせた三者の運動協調に関する検討
市川 淳(神奈川大学)
- OS10-2 話しかけ場面における認知的インタラクションのモデル化に向けた実験とシミュレーション
坂本 孝丈(静岡大学)
- OS10-3 相互適応を中心に体系化するエージェント研究の現在と展望
大澤 正彦(日本大学)
- OS10-4 インタラクションのフィールドと計算モデルをつなぐ
長井 隆行(大阪大学)

オーガナイズドセッション(OS11)

コロナ禍・DX で人と人工物の相互作用場面の何が変わったのか、今後どう変わるのか？

9月5日(日) 16:00-18:00

会場: zoom 会場 No. 3

※発表番号末尾の F は大会発表賞へ応募していることを示しています。

オーガナイザー: 須藤 智(静岡大学), 新井田 統(株式会社 KDDI 総合研究所), 原田 悦子(筑波大学)

- OS11-1 コロナ禍と DX で私たちの生活はどう変わった/変わるのか? 高齢者コミュニティのデジタル
化を事例に考える
須藤 智(静岡大学)
- OS11-2 オンラインワークでのインタラクションを考える-対面から失われたもの・新たに得られた
もの
馬田 一郎(株式会社 KDDI 総合研究所), 新井田 統(株式会社 KDDI 総合研究所)
- OS11-3 コロナ禍と DX: 高齢者の生活・認識はどう変わったか
安久 絵里子(筑波大学), 原田 悦子(筑波大学)

OS11-4 オンラインで共在する：美容系ユーチューバーによる Get Ready With Me 動画を例に
天谷 晴香(国立国語研究所)

OS11-5F 聞き手の様子がオンライン環境下での教示行為に及ぼす影響
若松 綾人(東京電機大学大学院), 安田 哲也(東京電機大学), 小林 春美(東京電機大学)

OS11-6F 共有知識がないときにジェスチャーを用いて伝えるか?: 遠隔対話におけるナビゲーション時の
指示方略
小林 勝也(東京電機大学大学院), 安田 哲也(東京電機大学), 小林 春美(東京電機大学)

オーガナイズドセッション(OS13)
プロジェクションのモデル化と応用へ向けて

9月5日(日) 16:00-18:00

会場: zoom 会場 No. 4

※発表番号末尾の F は大会発表賞へ応募していることを示しています。

オーガナイザー: 小野 哲雄(北海道大学), 岡田 浩之(玉川大学), 鈴木 宏昭(青山学院大学)

OS13-1 プロジェクションのモデル化と応用へ向けて
鈴木 宏昭(青山学院大学)

OS13-2 空間表象のボトムアップ形成と地図のトップダウン理解を統合する多感覚共有モジュール
モデル
飯塚 博幸(北海道大学)

OS13-3 投射される価値
寺田 和憲(岐阜大学)

OS13-4 人類進化にみるプロジェクションの共有: 「ライオンマン」と「古代の大航海」
久保(川合) 南海子(愛知淑徳大学)

OS13-5F 心の指はどこまで伸びる? - ダブルタッチ錯覚による軸固有の身体変形距離限界の同定
佐藤 優太郎(名古屋市立大学大学院), 齋藤 五大(東北大学大学院), 小鷹 研理(名古屋市立
大学大学院)

OS13-6F とどかない後ろ手をつなぐ: 自己接触錯覚が起きると指や腕も伸びる
齋藤 五大(東北大学大学院), 佐藤 優太郎(名古屋市立大学大学院), 小鷹 研理(名古屋市立
大学大学院)

OS13-7 ダブルタッチ錯覚 - 非マスク型同期による新たなラバーハンド錯覚パラダイム
小鷹 研理(名古屋市立大学大学院), 佐藤 優太郎(名古屋市立大学大学院), 齋藤 五大(東北
大学大学院)

OS13-8F XRAYSCOPE - ハーフミラーを用いた MVF による身体の透視および透触視 -
今井 健人(名古屋市立大学大学院), 佐藤 優太郎(名古屋市立大学大学院), 小鷹 研理(名古屋
市立大学大学院)

OS13-9 世界の部分的な心的操作モデルの獲得による他者の背景世界の推定
高橋 英之(大阪大学大学院), 橋川 莉乃(大阪大学), 堀部 和也(大阪大学大学院), 岡田 浩之
(玉川大学)

オーガナイズドセッション(OS14)

芸術を「情報」で現す意味

9月5日(日) 16:00-18:00

会場: zoom 会場5

※発表番号末尾のFは大会発表賞へ応募していることを示しています。

オーガナイザー: 佐藤 由紀(玉川大学リベラルアーツ学部), 安藤 花恵(西南学院大学人間科学部)

OS14-1F 曖昧性と美: 俳句の美的評価の日独文化比較

檀割 仁平(京都大学大学院), 野村 理朗(京都大学大学院)

OS14-2F 作者情報を伝える芸術: 鑑賞者はいかに創作を「復元」するか

松本 一樹(東京大学大学院), 岡田 猛(東京大学大学院)

OS14-3 表現研究におけるシステム論的な分析単位—再構成された共通入力を用いて—

野村 亮太(早稲田大学)

OS14-4 指定討論